遠野一輪車クラブ

左から_馬場ひなたさん(聖和学園短大２年、遠野高出身)、菊池紗樺さん(花巻農業高３年、遠野西中出身)

2023全日本一輪車競技大会(７月23日)

息の合った演技で全国３位

同大会が高崎アリーナ(群馬)で開催され、遠野一輪車クラブの馬場･菊池ペアが全国３位に輝きました。２人の練習は、馬場さんが帰省する週末に６時間。限られた時間で工夫し、技の精度を高めました。演技は、技術と表現力が高く評価。見事３位入賞を果たしました。菊池さんは、「来年は今回出来なかった技を成功させたい」と話し、馬場さんは、「来年の大会ではミスなく完璧な演技で優勝したい」と意気込み、ともに笑顔を見せました。

第58回岩手県猟友会主催安全狩猟射撃大会(７月30日)

団体･個人の部で２連覇達成

同大会が花巻市クレー射撃場で開催され、遠野猟友会が優勝し２連覇を達成しました。競技は、不規則に飛び出す60個の的を打ち抜いた数を競うもの。３人合計140個の記録で、栄冠をつかみました。個人の部は年代別に争われ、55歳以下の部で多田(友)さんが大会２連覇。２位と２個差の接戦を制しました。リーダーの太田代さんは、「優勝でき安心した。未踏の３連覇を目指し、今後も練習に励みたい」と意欲を新たにしました。

遠野猟友会

左から_多田堅悦さん(宮守町鱒沢)、多田友和さん(同)、太田代真人さん(宮守町宮守)

遠野市空手道連盟

左から_谷藤州さん(附馬牛小２年)、小笠原透真さん(青笹小４年)、太田偉智さん(遠野小６年)

全東北･北海道防具付空手道選手権大会(７月２日)

団体優勝･個人１人が３冠

同大会が気仙沼市総合体育館(宮城)で開催され、遠野市空手道連盟が小学生男子組手団体の部で優勝しました。谷藤さんは前蹴りを武器に２戦全勝。小笠原さんは自慢の中段突きで接戦を制し、太田さんは上段突きで着実に勝利を重ねました。谷藤さんは、形と組手の個人戦でも連戦連勝。無敗の３冠に輝きました。谷藤さんと小笠原さんは、「優勝できて嬉しい」と喜び、大将の太田さんは、「チームみんなで勝てて良かった」と笑顔で話しました。

第16回市内小学校水泳記録会

(７月25日、優勝者のみ掲載)

■男子　▽６年50メートル自由形　百濟龍樹(達曽部)37秒86　▽５年50メートル自由形　門脇平青(遠野)41秒49　▽６年50メートル背泳ぎ　瀬川桃李(遠野北)48秒02　▽５年50メートル背泳ぎ　菊池銀士(遠野)･菊池心温(青笹)57秒03　▽６年50メートル平泳ぎ　佐藤檀(達曽部)54秒23　▽５年50メートル平泳ぎ　大里風羽(遠野北)１分00秒65　▽共通４×50メートルリレー　遠野(水内武蔵･高野草汰･菊池皇希･瀬川朗珀)３分01秒44

■女子　▽６年50メートル自由形　藤井柚希(遠野)40秒39　▽５年50メートル自由形　内田笑梨(綾織)46秒99　▽６年50メートル背泳ぎ　久慈史椛(遠野北)50秒74　▽５年50メートル背泳ぎ　千葉伽耶(遠野北)54秒65　▽６年50メートル平泳ぎ　中村心春(達曽部)55秒26　▽５年50メートル平泳ぎ　今淵心(土淵)１分03秒03　▽共通４×50メートルリレー　遠野(伊藤結菜･内田空良･岡田咲凜･藤井柚希)３分02秒98

1_集中してスタートの合図を待つ

2_ゴールまであともう少し。頑張れ！

令和５年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)

北海道で開催された同大会に出場した本市出身選手を紹介します。

１アシスト決め全国ベスト８

専修大学北上女子サッカー部

昆野　杏梨さん

(２年、遠野中出身)

女子サッカー競技が７月26日～30日、帯広の森球技場などを会場に開催。昆野さんが所属する専修大学北上がベスト８に輝きました。昆野さんは全試合にスタメン出場し、初戦の秀岳館(熊本)戦は味方のゴールをアシスト。チームの勝利に貢献しました。準々決勝の聖和学園(宮城)戦は、自身のパスを起点に味方がゴール。試合は１対３で敗れるも、存在感を示しました。昆野さんは、「自分のプレーが全国でも通用すると自信になった。来年は、東北大会制覇と全国ベスト４を目指したい」と意欲を見せました。

磨いた技光り団体全国３位

日本航空空手道部

高橋　わかばさん

(２年、遠野中出身)

空手競技は７月26日～29日、恵庭市総合体育館を会場に開催され、高橋さん所属の日本航空(山梨)が団体組手の部で全国３位に輝きました。高橋さんは準々決勝の済美(岐阜)戦から中堅で出場。得意の突き技を武器に１対０で勝ち、チームは３対０で準決勝へ駒を進めます。準決勝の華頂女子(京都)戦は次鋒で出場。積極的に攻めるも力およばず、チームは１対３で敗れるも、堂々の全国３位を獲得しました。高橋さんは、「試合を楽しめたけど優勝できず悔しい。来年は必ず日本一になりたい」と今後の活躍を誓いました。

青森山田中硬式野球部

藤川　哲さん

(３年、小友小出身)

第51回日本リトルシニア日本選手権大会(７月31日～８月５日)

全国３位＆大会ベストナインに選出

同大会が神宮球場(東京)などで開催。青森山田中硬式野球部所属の藤川さんが出場し、全国３位に輝きました。けがの影響で本職の捕手から一塁手に変更し出場。全試合スタメン出場し、準決勝まで勝ち上がりました。準決勝の世田谷西(東京)戦は、ノーエラーの堅守で投手を援護。３塁打を含む２本のヒットでチームを鼓舞しました。試合は７対８で惜敗するも、大会ベストナインに選ばれる活躍を見せました。藤川さんは、「優勝できなかったのが悔しい。高校では捕手として甲子園に出場したい！」と力強く語りました。

第19回オーライ！ ニッポン大賞(７月13日)

遠野グリーン･ツーリズムが高評価

遠野山･里･暮らしネットワークが７月13日、都市と地方を結ぶ優れた取り組みを表彰する「オーライ！ ニッポン大賞」を受賞しました。農家民泊などのグリーン･ツーリズムに、20年間取り組んだ実績が評価。2022年度の宿泊数は年間9,000泊を超え、本市と都市を結ぶ活動に尽力しました。コロナ禍では、市民を対象とした超マイクロツーリズムに挑戦。地域を巡る体験型ツアーを打ち出し、観光振興につなげました。菊池会長は、「今回の受賞は、農家の皆さんの地道な活動と協力があってこそ」と感謝を述べました。

認定ＮＰＯ法人
遠野山･里･暮らしネットワーク
菊池　新一会長